

茨戸アカシアハイツ新型コロナウイルス感染症患者の発生状況と対応（第2報）

2020年5月24日
社会福祉法人札幌恵友会

2020年4月26日に介護老人保健施設茨戸アカシアハイツにおいて新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の患者が発生し、その後同施設の職員と入所者から複数の COVID-19 患者が確認されました。5月21日時点における患者発生状況と対応についてお知らせします。

患者発生状況

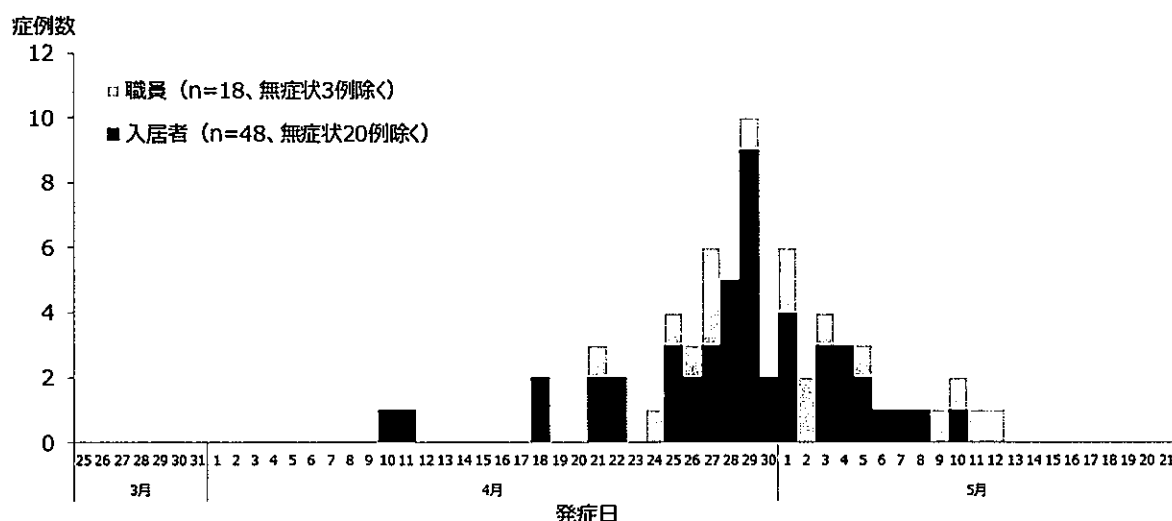
2020年3月25日から5月21日までに、茨戸アカシアハイツ（定員100名）で働いていた職員や入所していた者で、PCR検査により COVID-19 と確認された患者についてまとめました。施設での感染管理上の必要性から、原則職員と入所者は一度は検査を実施し、その後も症状に応じて随時検査を実施しています。

上記期間中に89例の COVID-19 患者が確認され、職員が21例、入所者が68例でした。性別は女性が69例（78%）であり、年齢は職員が20代～70代、入所者が60代～100代でした（表）。

表 茨戸アカシアハイツ COVID-19 患者の基本情報

	全体（n=89）	職員（n=21）	入所者（n=68）
性別 女性	69（78%）	14（67%）	55（81%）
年代	20代～100代	20代～70代	60代～100代

図 茨戸アカシアハイツ COVID-19 患者の発生状況、3月25日～5月21日、n=66（無症状23例除く）



注）37.5℃以上の発熱、呼吸器症状、味覚・嗅覚障害のいずれかを認めた日を発症日とした

5月21日時点で、患者19例、検査で2回陰性確認された者2名、濃厚接触者25名があり、患者と濃厚接触者はそれぞれ違う階に入居しています。なお、これまでに患者35例及び濃厚接触者2名が病院に搬送されております。

対応

必要な介護を提供する体制を作ること、医療機関に準じた治療の選択肢を提供すること、職員の健康と安全を守り持続可能な体制を作ることの3点を基本方針として、5月16日に現地対策本部を立ち上げました。現地対策本部では、国・地域の感染症診療・感染症対策・医療体制の専門家の支援のもと、下記の対策が実施されています。

1. 入所者への介護サービスの継続
2. 患者情報の収集と整理
3. 施設での患者に対する健康観察、濃厚接触者の健康観察及び必要に応じた検査実施
4. 患者の陰性確認の検査実施
5. 必要な介護や医療の提供をできない場合の医療機関への搬送
6. 必要と判断した場合の医療の提供（酸素投与、点滴、アビガン）
7. 施設の医療従事者及び介護従事者の確保
8. 施設の業務に従事する人に対する感染管理（個人防護具の調達、感染管理指導、ゾーニングへの助言）
9. 関係者間での情報共有と外部への情報発信

COVID-19 患者発生状況は日々変化していきますが、関係各所と連携しながら、通常のサービスを提供できるよう対策をすすめてまいります。